



移動町長室

たところであるが、住民の方の意見としては、「合併の必要はない」「時間をかけて取り組んでいくべきである」などの意見をいただいたところであり、私の感じとしては、住民の合併に対する熟度は低く感じたところである。

「総合計画審査特別委員会」の中では質問に対し、現在、町では合併に対する機運、盛り上がりがない中で、現在の状況等を勘案し、「私が行政を預かっている間は、合併は考えない」ということでお答えをしたものである。

市町村合併というものは、あくまでも住民による議論を重ねた結果として、住民からの発議が何よりも重要なことであり、また、そうでなければならぬと思っている。

このようなことは、今まで述べてきた「合併は住民の発議による」という基本的な考え方であり、あくまでも「民意を主として行政を運営していきたい」という考えに何ら変わることはないものである。

1 点目について、まず、町内の公衆トイレ設置、管理状況については、町と県を合わせ43箇所

の常設公衆トイレと、土曜、日曜、祭日、春・夏・冬休み、ゴールデンウィーク、紅葉等の季節などに開放している交通渋滞対策用臨時トイレ1箇所及びスキの季節に臨時的に設置している2箇所の計46箇所の公衆トイレが設置されており、そのうち障がい者対応トイレについては、17箇所

で、オストメイトを併設しているトイレは10箇所である。

地域別に見ると、湯本地域は町が7箇所と県が2箇所の計9箇所、宮ノ下地域は町が4箇所、宮城野地域は町が4箇所、仙石原地域は町が10箇所

所と県が4箇所の計14箇所、箱根地域は町が10箇所と県が5箇所の計15箇所である。

次に、管理状況であるが、清掃等の維持管理については、トイレの設置場所から地元の方にお願いしているものもあるが、ほとんどのトイレが清掃業者に委託している。使用頻度の多いトイレは、毎日清掃を行っており、使用頻度が少ないトイレなどは、清掃日を決めて実施するほか、汚れがひどく緊急な対応が必要な場合には、職員が出向いて清掃を行っている。また、建物については、職員が定期的に巡回し、管理をしている。

次に、将来の公衆トイレ増設等については、現在、県が進めている国道1号函領洞門バイパス工事の中で、旧観光会館跡地の残地に公衆トイレを設置していただけるよう協議をしていきたい。また、金時山の山頂に山岳トイレを設置するため、神奈川県、南足柄市、箱根町、静岡県、小山市の2県1市2町で「金時山

山岳トイレ建設協議会」を平成18年8月に発足をさせ、現在、研究検討をしている。

2 点目について、まず、関所の仮設トイレであるが、町では箱根関所を訪れる観光客の利用に供するため、現在の京口御門横に公衆トイレを設置していたものであるが、箱根関跡保存整備事業を推進するにあたり、支障となったため、これを撤去し、国指定史跡地外に新たに公衆トイレを設置する計画としたことから、設置するまでの間、代替策として一時的に設置をしたものである。なお、この新しい公衆トイレについては、箱根関所の復元整備と合わせ、来春までに箱根関所にふさわしい、また、箱根地域の街なみ景観

企画
箱根町の合併問題について

Q 町長は過日、自身の任期中に合併は、行わないとの考え方を示されたが、その所見について伺う。

A 箱根町の合併問題への取り組みとしては、平成13年11月19日、より良い広域連携と合併を視野に「西さがみ連邦共和国」を建国した。

その中で、市町村合併に関する調査研究を行う一方、町においても「移動町長室」や「まちづくり懇談会」を通じ、合併問題について、話題とし

産業施設
町内の公衆トイレについて

Q 次の2点について伺う。
1 町内の公衆トイレの設置、管理状況及び将来の公衆トイレの増設等の計画について
2 関所の仮設トイレ、仙石原すき草原仮設トイレについて

A 1 点目について、まず、町内の公衆トイレ設置、管理状況については、町と県を合わせ43箇所の常設公衆トイレと、土曜、日曜、祭日、春・夏・冬休み、ゴールデンウィーク、紅葉等の季節などに開放している交通渋滞対策用臨時トイレ1箇所及びスキの季節に臨時的に設置している2箇所の計46箇所の公衆トイレが設置されており、そのうち障がい者対応トイレについては、17箇所

で、オストメイトを併設しているトイレは10箇所である。

地域別に見ると、湯本地域は町が7箇所と県が2箇所の計9箇所、宮ノ下地域は町が4箇所、宮城野地域は町が4箇所、仙石原地域は町が10箇所

所と県が4箇所の計14箇所、箱根地域は町が10箇所と県が5箇所の計15箇所である。

次に、管理状況であるが、清掃等の維持管理については、トイレの設置場所から地元の方にお願いしているものもあるが、ほとんどのトイレが清掃業者に委託している。使用頻度の多いトイレは、毎日清掃を行っており、使用頻度が少ないトイレなどは、清掃日を決めて実施するほか、汚れがひどく緊急な対応が必要な場合には、職員が出向いて清掃を行っている。また、建物については、職員が定期的に巡回し、管理をしている。

次に、将来の公衆トイレ増設等については、現在、県が進めている国道1号函領洞門バイパス工事の中で、旧観光会館跡地の残地に公衆トイレを設置していただけるよう協議をしていきたい。また、金時山の山頂に山岳トイレを設置するため、神奈川県、南足柄市、箱根町、静岡県、小山市の2県1市2町で「金時山



公衆トイレ (小涌谷)